

(感染症管理センター)

1. 概 要

診療報酬改定により感染防止対策加算が変更され、算定要件を満たす大規模病院に手厚い点数が与えられるようになった。地域病院との連携が必須となり、1年間で4回以上の合同カンファレンスを行った。また、同規模施設と相互訪問評価を実施した。院内では『抗菌薬使用ガイドライン（第2版）』を改訂し、『特定抗菌薬届出制システム』について検討を開始した。

新型インフルエンザ等対策特別措置法の施行を控え、名古屋検疫所と『新型インフルエンザ検疫対応訓練』を実施した。本年は全国的に風疹が大流行し、ワクチンが品薄になる現象も発生した。10月には英国から『新型コロナウイルスによる重症肺炎（MERS）』が報告されたため、院内に対して継続した情報提供を行った。

感染症発生動向調査

全数報告

(件)

類型	疾患名	H 2 4 年度	H 2 3 年度	H 2 2 年度
二類	結核	6 2	4 2	4 2
三類	細菌性赤痢			1
	腸管出血性大腸菌感染症	1		
四類	つつが虫病	1		
	レジオネラ症	4	2	
五類	梅毒	1		1
	破傷風		1	
	風しん	1		
	麻しん		1	
	急性脳炎	1		
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1		
	後天性免疫不全症候群	1	4	3

小児科定点報告

(件)

	疾患名	H 2 4 年度	H 2 3 年度	H 2 2 年度
週報	RSウイルス	1 1 8	1 0 6	—
	咽頭結膜熱	2	0	—
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1 7	1 6	—
	感染性胃腸炎	4 3 5	3 8 2	—
	水痘	1 7	2 7	—
	手足口病	2	4 2	—
	伝染性紅斑	1	0	—
	突発性発疹	6	6	—
	百日咳	2	1	—
	風疹	1	2	—
	ヘルパンギーナ	5	5	—
	麻疹	0	1	—
	流行性耳下腺炎	0	1	—

基幹定点報告

(件)

	疾患名	H 2 4年度	H 2 3年度	H 2 2年度
週報	細菌性髄膜炎	3	10	—
	無菌性髄膜炎	4	12	—
	マイコプラズマ肺炎	465	254	—
	クラミジア肺炎	1	0	—
	感染性胃腸炎（ロタウイルス）	0	0	—
月報	メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	204	282	—
	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0	—
	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	1	—
	薬剤耐性アシネトバクター感染症	0	0	—

インフルエンザ定点報告

(件)

	疾患名	H 2 4年度	H 2 3年度	H 2 2年度
週報	インフルエンザ	768	351	—

インフルエンザによる入院患者報告

(人)

	疾患名	H 2 4年度	H 2 3年度	H 2 2年度
週報	インフルエンザ（入院患者）	115	—	—

職員の感染曝露

(件)

	H 2 4年度	H 2 3年度	H 2 2年度
針刺し・切創（EPI-Net A）	52	47	35
皮膚・粘膜汚染（EPI-Net B）	5	9	7
院内結核曝露	7	3	7

職員健康外来

(人)

	H 2 4年度	H 2 3年度	H 2 2年度
延べ受診者数	138	111	—

研究会発表

<感染症管理センター>

No.	演 題 名	発表者及び 共同研究者	学会・研究会名	発表年月日
1	外来における看護師の対応～トリアージ から感染対策まで～	高 橋 一 嘉	感染防止研究会	2012/5/26
2	新感染防止対策加算～改訂の真意と病院 の責務について～	高 橋 一 嘉	三河感染免疫研究会	2012/7/28

座長・司会

<感染症管理センター>

No.	演 題 名	座長名	学会・研究会名	発表年月日
1	第1回 東三河感染対策管理者座談会	高橋一嘉		2012/5/12
2	第2回 東三河感染対策管理者座談会	高橋一嘉		2012/9/29

講 演

<感染症管理センター>

No.	演 題 名	演者名	学会・研究会名	年月日
1	医療・看護の最前線「病院における感染対策の現状と課題」	高 橋 一 嘉	豊橋創造大学	2012/11/16

論文・著書

<感染症管理センター>

No.	題 名	発表者及び 共同研究者	雑 誌 名
1	外来における看護師の対応～トリアージから感染対策まで～	高 橋 一 嘉	Kansen boshi ISSN 1340-9921 Journal of Infection Control 感染防止 Vol.22 No.3 2012